九州減災コンソーシアム〔令和３年３月９日設置〕

国土交通省
九州地方整備局

概　要

【活動方針】

大規模災害発生時に、構成機関が互いに情報を共有し、被害の全容把握や、各機関の応急復旧を連携して円滑に進める事を目的とし、**情報交換や意見交換を平常時から行い、互いに顔の見える関係を構築**して、連携を深める

【活動内容】

○発災初期における被災状況の早期把握のための方策
○構成機関相互の効果的な連携につながる情報共有・交換
○災害及び減災対応の事例紹介
○九州各地における自然災害リスクについて、防災・減災の取り組みを幅広く啓発
（九州減災シンポジウムの開催）

【メンバー】

【構成15機関】

九州大学（松田泰治 名誉教授、三谷泰浩 教授）
福岡管区気象台．九州地方整備局
国土地理院九州地方測量部．九州旅客鉄道（株）
NEXCO西日本（株）．福岡北九州高速道路公社
九州電力（株）．西日本電信電話（株）
西部ガス（株）．（株）NTTドコモ
KDDI（株）．ソフトバンク（株）
楽天モバイル（株）．（株）Qtnet



開催状況

【参考】九州減災コンソーシアム（開催状況）

国土交通省
九州地方整備局

本コンソーシアムは、平成31年に開催された第1回準備会からはじまり、令和3年から正式に「減災コンソーシアム」として発足。なお、第8回から「九州減災コンソーシアム」に改名。

表：九州減災コンソーシアム開催状況

準備会／コンソーシアム	開催日	主な議題	備考
準備会（第1～4回）	平成31年2月14日	• 減災コンソーシアムの設立趣旨説明・進め方を議論 • 各機関の南海トラフ地震発生時等の対応について説明	
	令和元年6月7日	• 各機関の災害時の状況、連携実態等について説明 • 減災コンソーシアムの参加機関、今後のテーマ、進め方を議論	
	令和元年12月18日	• 今後の進め方の当面の検討事項	
	令和3年3月9日	• 運営要領（案）について了承 • 今後の進め方について、年2回程度の開催とすることについて了承	※R3.3.9減災コンソーシアム発足
第1回減災コンソーシアム	令和3年6月14日	• 準備会（第1回～第4回）の振り返り • 各機関防災対策の取組紹介	
第2回減災コンソーシアム	令和3年10月15日	• コンソーシアムメンバー間の共有ネタについて意見交換 • 特殊車両通行許可申請、災害時通行止め区間の緊急車両の通行、関係者用通れるマップの共有方法、道の駅の防災拠点利用、共有可能な災害情報と共有の仕方	
第3回減災コンソーシアム	令和4年2月18日	• 新規加入機関紹介 • 第2回共有ネタのうち、防災拠点自動車駐車場、特車申請、災害時通行止め区間の緊急車両の通行、情報共有システムについて、所掌する機関より説明	※追加機関：NTT西日本、QTnet、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、福北公社
第4回減災コンソーシアム	令和4年6月20日	• 各機関の防災への取り組み紹介 • 各機関の災害時の情報提供のあり方について意見交換会	
第5回減災コンソーシアム	令和5年5月23日	• 共有ネタ（拠点・特車・通れるマップ・復旧車両の通行）について共有・意見交換 • 各機関の災害時の情報提供のあり方について（2回目）意見交換会	
第6回減災コンソーシアム	令和5年10月23日	• R6年度の情報共有項目の共有 • メールによる共有訓練の実施（案）	
第7回減災コンソーシアム	令和6年2月21日	• 今年度振り返り、能登半島地震対応意見交換 • 規約改正（名称変更・シンポジウムの取り組み）	
第8回九州減災コンソーシアム	令和6年5月31日	• 新規加入機関 • R6年度の情報共有項目の共有 • シンポジウムの取り組みについて	※追加機関：楽天モバイル ※名称を改名
第9回九州減災コンソーシアム	令和6年10月1日	• 防災対応の振り返り • 各機関との連携・情報共有の取り組みについて	
第10回九州減災コンソーシアム	令和7年8月19日	• 共有ネタ（日本の気候変動・R6能登半島災害の現地視察）について意見交換 • シンポジウムの取り組みについて	
第11回九州減災コンソーシアム	令和8年4月27日	• 共有ネタ（新しい防災気象情報・火山防災関連施設データの提供・公開）について意見交換 • シンポジウムの取り組みについて	